企業経営にプラスサするワンポイント情報誌

あきたBi麦

秋田県商工会連合会報

plus

Akita Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

2016 NOVEMBER Vol.514

新日 たなの 挑記 戦 の スタ

有限会社 シーシーカンパニー(由利本荘市)店内

商工会は財務管理を通じた計画づくりを 応援します

記帳は、決算申告の基礎となる帳簿の作成のために必要なだけではなく、自 社の経営状況を管理する上でもとても重要な業務です。

日々の記帳を通じて、自社の経営が現在どのような状態にあるのかを正しく把握することが、課題や懸案事項を早期に発見することにつながります。

商工会は、定期的な記帳により得た情報をもとに、経営分析による課題の抽出 や、課題の解決に向けた施策の活用提案、販売戦略の立案、将来を見据えた計 画づくりなど、事業所の皆様に寄り添って支援します。

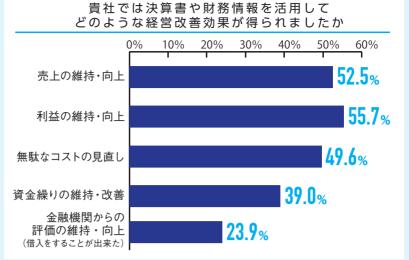
トになる

定期的な記帳による財務管理は経営改善につながります

中小企業庁が実施した調査において、 決算書や財務情報を活用することにより、売上や利益の維持・向上が図られた という回答が多くなっています。

定期的に記帳業務を行うことによって、 前年同月対比など細かい財務情報を得 ることができ、経営改善効果を生み出す ことにつながります。

「記帳業務=税務申告」と捉えるだけではなく、財務情報を経営改善や戦略づくりにも活用していきましょう。



平成24年度中小企業における会計の実態調査事業報告書より抜粋

支援事例 **Pick up**

財務情報を活用した販売戦略

記帳業務はどのように行っていますか

昭和58年、由利本荘市に衣料品小売業として 開業。創業時から、記帳業務のほぼすべてを自 社で行っていました。常に多量の伝票処理に追わ れ、事務負担が大きかったため、営業活動に支 障をきたさないようにするのが精いっぱいでした。

平成12年より「ネットde記帳」を導入して商工会の支援を受けていることから、今では、ちょっとした空き時間を使ってこまめに記帳業務を行っており、伝票を1週間以上ためることはなくなっています。

「ネットde記帳 | の導入効果は

「ネットde記帳」を活用することで、売上データや経費データの管理を月次だけではなく週次でも確認できるようになりました。様々なデータをグラフ化することにより、なぜ売上が増減したか、なぜ経費が増減したかといった分析を行うようにしています。

自社で分析した内容について商工会に相談をすることで、自社の強みや弱みを把握できるようになり、それを踏まえて、これからは少しでも販売の間口を広げなければならないと思うようになりました。

具体的にどのような戦略に取り組みましたか

開業以来、店舗への来店を待つ営業スタイルでしたが、地域住民の高齢化や人口減少により、来店客数が伸びないことから、少しでも多くのお客様に当社の商品を知ってもらうため、ネット販売に取り組みました。

Case Number 007

有限会社 シーシーカンパニー(由利本荘市商工会) 担当 … 古関 由佳 経営指導員/冨樫 浩子 経営支援員

最初は不安な部分もありましたが、始めてみると、 全国各地から予想以上の注文が入り、在庫管理 で多忙になる日もあるくらいです。

これからも当社の経営基盤構築のために、ネット販売を強化していく必要があると考えています。 そのため、商品がより多くのお客様の目に触れるよう、商工会の専門家派遣を通じて、新たなネット販売手法について指導を受けているところです。

今後の計画を教えてください

息子への事業承継を視野に入れるようになりました。息子がまだ帰省したばかりのため、具体的な時期は決めていませんが、うまく承継するためにも、財務情報の分析や課題の整理について商工会と相談しながら、中長期計画や事業承継計画を作成しなければならないと思っています。

商工会は、当社の財務内容や経営状態を常に 把握してくれていますし、頻繁に巡回訪問してくれ るので、とてもよいアドバイザーとしてこれからも支 援を期待しています。



ネット販売の状況を確認する大場社長

Case Number 008

Case Number 009

財務管理を通じて得た後継者の成長

斉藤製畳 (美郷町商工会) 担当 … 門脇 裕彰 経営指導員/佐井 浩子 経営支援員

斉藤製畳では、後継者であるご子息が、「ネットde 記帳」を活用して財務管理を行っています。

ご子息は、これまで職人として仕事に専念してきた ことから、最初は経理や財務といった経営者目線の情 報に触れることに慣れていませんでした。そこで、両 親が記帳した帳簿を入力する簡単な作業から始めるこ とで、ゆっくり経理や財務に触れていくことにしました。

財務管理を行うようになって、記帳業務が経営に必要な重要な業務だという意識を強く持ち、日々経理や財務の知識習得に努めたことで、今では帳簿の計算間違いや記入漏れにも気付いて修正できるようになっています。

現在は、売上や経費の推移を時系列で管理し、 現状について事業主である父親と話し合いを行うこと で、今後の経営方針の確認と調整に役立てています。

また、商工会では、事業者と財務情報を共有していることから、マル経資金の申込に際して、迅速な対応ができるなど、日々の記帳によって得られる情報を活用した支援を行っています。



記帳業務を行う斉藤さん(後継者)

今後の記いを支いるのがなるをできる。

記帳データが活きる販売活動

きさかたPIZZA(にかほ市商工会) 担当 … 高橋 ひとみ 経営指導員/佐藤 博子 経営支援員

きさかたPIZZAは、にかほ市商工会主催の創業塾の受講をきっかけに、平成28年4月、地元にかほ市象潟に開業しました。商工会は創業支援を行うとともに、開業時より記帳指導を行っています。

営業時間外でも仕込みや準備にかかる時間が多いため、記帳業務に取り組む時間が少ないという点が課題となり、その対策として、「ネット de 記帳」の代行サービスの利用を始めました。

最初は、経理に関する知識が全くなかったにも関わらず、商工会の記帳担当職員によるきめ細かい記帳指導を受けたことで、今では正確な日計表を作成できるようになりました。

商工会では、毎月1回、元帳と試算表の他に、 月毎の損益をまとめた推移財務報告書を提供しており、データをもとに売上や利益率、経費の増減について、原因を確認しながら、対策を指導しています。 また、創業当初から日々の売上を商品別に集計していることから、担当指導員と曜日による売上の違いや売れ筋商品を確認することで、仕込み量の調整やプロモーション強化の支援も行っています。

今後は、地域からより愛される店づくりのため、新たな顧客開拓や新商品開発なども含め、将来を見据えた計画づくりを支援していきます。



ピザを焼く高坂さん(事業主)

財務管理を通じた経営計画づくりは、商工会にお任せください

商工会は「ネットde記帳」を通じて日々の財務管理のお手伝いをします。 入力されたデータ等は商工会と共有することができるため、財務情報をもとにした自社の現状分析や課題について、気軽に相談することができます。

商工会と一緒に課題解決方法を考え、将来に向けた計画づくりを行いましょう。

休業対応応援共済

1 「地震・噴火・津波」等の 自然災害による休業も補償します。

4 共済掛金はご指定の 金融機関の口座から引落しできます。

をまた。 地震でもみんなを**守る**

2 「約定日数」に応じて 共済金をお支払いします。 3 作業場や店舗等の 「事業用建物」を対象としています。

5 商工会が請求窓口となり、 共済金請求のお手伝いをします。 「休業対応応援共済」が 事業所の事業再開を応援します!



経済産業省施策説明会が開催されます

補助金や各種支援施策の活用を検討されている方はぜひお申し込みください。

●開催日時等

▼ IN IE I = √ ₹			
会 場	日 時	場所	定員
能代会場	11月21日 (月) 13:30~15:30	山本地域振興局 3 階大会議室	80名
大館会場	11月22日 (火) 13:00~15:00	大館市立中央公民館2階視聴覚ホール	200名
大曲会場	11月24日 (木) 13:30~15:30	仙北地域振興局 3 階大会議室	60名
湯沢会場	11月25日(金)10:00~12:00	湯沢市役所本庁舎4階 41会議室	100名
横手会場	11月25日(金)14:00~16:00	横手市平鹿生涯学習センター多目的ホール	150名
本荘会場	12月 7日 (水) 13:30~15:30	由利地域振興局 3 階大会議室	50名
秋田会場	12月 8日 (木) 13:30~15:30	秋田県庁第二庁舎 8階大会議室	200名

●申し込み方法

下記 HP より申込書をダウンロードし、必要事項を入力の上、秋田県産業労働部宛に FAX にてお申し込みください。

詳細は 秋田県ホームページ

http://www.pref.akita.lg.jp/www/contents/1452056412250/index.html

すべての事業者に個人情報保護法が適用されます

顧客や従業員の個人情報を紙面やパソコンで名簿化して事業に活用しているすべ ての事業者は、個人情報保護法のルールに沿った個人情報の取扱いが求められます。

改正個人情報保護法の施 行日は平成 29 年春頃を 予定しています。

個人情報保護法の5つの基本

- - 個人情報を取得する時は、何に使うか目的を決めて、本人に伝える。
- 取得した個人情報は決めた目的以外のことには使わない。
- 取得した個人情報は安全に管理する。
- 個人情報を他人に渡す際は、本人の同意を得る。
- 本人からの「個人情報の開示請求」には応じる。

詳細は 個人情報保護委員会ホームページ http://www.ppc.go.jp/personal/general/

